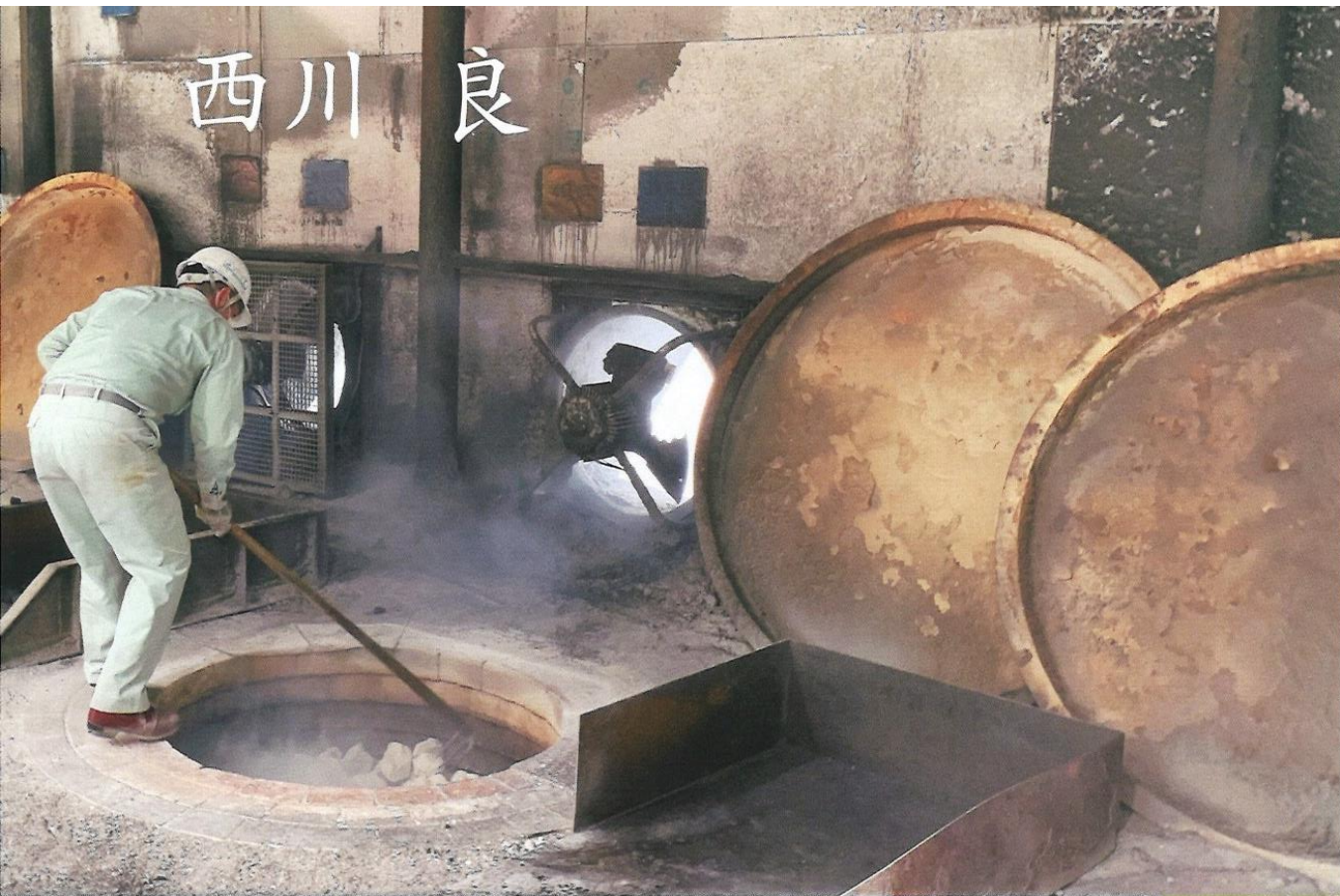




西川 良

石灰製造

高 知県の伝統産業である石灰製造業において古くから受け継がれてきた「塩焼き法」を継承する焼成技能者です。

長年の経験で培った勘により「塩焼き法」で用いる特殊な「土中炉（どちゅうろ）」の緻密な温度管理に優れています。平成18年に井上石灰工業株式会社に入社して以来、日々、石灰の焼成に取り組み、良質な石灰の製造及び不良石灰の削減に貢献しています。

また、後輩社員に対して技術を伝授するだけでなく、地域児童を対象とした工場見学では、石灰の町である南国市稲生の歴史を伝えています。

匠のこだわり

土佐の伝統的な石灰焼成法である「塩焼き」にこだわりを持っています。「塩焼き」とは、土中炉とよばれる特殊な釜に石灰石と燃料を投入し、塩を加えて時間をかけて焼いていく製法で、塩の効果により、不純物が少なく白色度が高い石灰が出来上がります。

私がいつも心掛けてるのは、感覚を研ぎ澄まして釜の中の状態を把握し、炎が強くなる前、弱くなる前に先回りして火力を調整することです。そうすることで石灰はより一層高品質に仕上がります。

Ryo Nishigawa

